

第1回ワークショップの結果概要

1 計画検討やワークショップの進め方について

1) 地域別実行計画の考え方や検討の進め方

- 市の中心部ばかりに投資をしていて、周辺地域が置き去りにされている気がする。市街地周辺地域の住民の生活をもっと考えてほしい。
- 予算の縮小を前提にされるとお金がかかる提案はできないなと思ってしまい、前向きな議論がしづらい。
- 新規に建てる複合施設に機能を集約しても、更新費の削減につながらないのでと懸念しているため、施設の統合や廃止、耐震補強による長寿命化などを行った場合の将来更新費用の推計も出してほしい。

2) ワークショップの進め方

- 市のこれまでの住民参加のやり方を見ていると、今回のワークショップの意見が本当に反映されるのか疑問に思う。しっかり意見を反映してほしい。
- このような住民意見を聞く場が開催されるのは良いことだと思うので、ここでの意見を踏まえて、市が責任を持ってまとめてほしい。
- ワークショップで議論する内容の幅が広いので、どこに焦点をあててどこまで深く話をすればよいのかわからない。議論のテーマを絞り、最終成果のイメージももっと明確に示してほしい。
- 大沢野地域は範囲が広く、居住エリアによって施設の充実度やアクセスの利便性に差があるのに加え、検討対象施設が多いので意見がまとまるのか疑問だ。
- ワークショップに参加しているメンバーは限られているので、もっと広く、今後施設を使うことになる若い世代、子育て世代の意見なども聞く必要があると思う。そのためには、オープンハウスを行政サービスセンターではなく人が集まる場所で開催した方がよい。

- 量や広さの例示をする際には市内の身近な施設を用いるなど、イメージしやすくわかりやすい説明を心がけてほしい。
- 資料内容を十分に把握し、考えを整理した上で話し合いたいので、開催1週間前くらいには資料を送ってほしい。
- 公共施設の職員や利用者がどんなことで困っているのか知る必要があると思うので、ワークショップに参加しているメンバーで現地調査ができるとうい。

2 地区のまちづくりや公共施設について

1) まちづくりの現状と課題

■ まちづくり全般

- コンパクトシティという考え方のもと、市の中心部に力を入れてまちづくりを進めていることは理解しているが、大沢野地域でも改善すべき課題はあるので、地域にとって必要な事業については予算を確保してほしい。
- 子どもを産んでも安心して育てられる、地域で子どもを守っていく発想でまちづくりに取り組む必要があると思う。
- 人が暮らすことで里山が保全されていると思うので、市の中心部だけを整備するのではなく、中山間地の住民もサポートして住み続けられるようにし、里山の環境を守ってほしい。

■ 人口問題

- 大沢野地域内には人口が減り、学校の統廃合の必要性を感じざるを得ない地区もあれば、人口減少を感じていない地区もあり、状況はまちまちだ。

■ 生活圏・アクセス

- 下夕からは富山の中心市街地に行きたいと思っても車がないとアクセスが難しいので、便がよい細入に行っているのが現状だ。下夕は細入の生活

圏内と考えて公共施設の問題を考えた方がよいのではないか。

- 中山間地などでは高齢化が進み、外出時の足がないためアクセス面が不便になってきている。シルバータクシーがあるが使い勝手が悪かったり、公共交通機関がバリアフリーになっていないのも課題である。
- 高校生が富山駅周辺まで通学する際に、鉄道は本数が少なく、バスは高額なので困っている。
- 旧笹津線の周辺に住宅が多いが、公共交通機関が通っていないので国道や笹津駅までのアクセスが大変だ。笹津駅から環状線のように大沢野地域の外側を回るバスなどがあると便利だと思う。
- 公共交通機関を充実させようとしても赤字になる可能性が高く、維持するのが難しいと思う。将来的には自動運転などの技術が発達するので、そういった新たな技術を使ってアクセスを確保することを考えてはどうか。

■ 経済活性化・観光

- 大沢野地域には伝統的文化がなく、祭りや獅子舞も担い手不足で減ってきている。今ある祭り以外に地域で楽しめる催しが必要だと思う。

■ 防災

- 地域の中心部だけに大きな施設を整備すると、災害時に車が使えない状況になった時に、居住地区によっては徒歩で行ける避難所がなくなってしまうのではないかと心配がある。

2) 公共施設の現状と課題

■ 公共施設全般

- 利用率は重要だと思うが、それだけで廃止や縮小の判断をせず、利用率が低くても地域にとって必要な機能があることを考えて決めてほしい。
- スポーツ施設などは新しいものができればそちらに人が流れて、古い方は使われなくなるので、類似機能を持った施設は2ついらないと思う。

- 施設利用率が低いのであれば、利用率を上げるための工夫や営業努力をすることも必要ではないか。
- 立派な施設があっても機能や利用料、利用方法が利用者のニーズにあっていないと使われないので、きちんと調査をしてほしい。利用の際に団体登録が必要だったり、登録しないと利用料が高かったりすると気軽に集まらない。
- 公共施設が充実してもそこに行けなくては意味がない。公共施設までのアクセスが、特に高齢者にとっては重要なので、交通アクセスと公共施設の再編はセットで検討してほしい。

■ 集会施設

- 規模を縮小したとしても、住民が交流する場としての機能や避難所としての機能は残してもらいたい。下夕の南部公民館は、地区住民全員が避難することを考えると現状の大きさですら足りないと感じている。

■ 文化施設

- 大沢野文化会館のホールのほどの収容人数はいらないが、成人式や小学校の合同発表会を開催できるスペースは必要だ。生涯学習センターやふれあいセンターのホールでは収容しきれない、500人規模の大きさのホールがあるとよい。
- 廃止された大沢野文化会館が建て替えになるのか、複合施設の中に入るのかなど、今後の方針を示してほしい。
- 大久保ふれあいセンターのホールは、遊びや運動ができる多目的なスペースとしても使えるようにして、子ども達が集いやすくなった方がよいと思う。

■ 図書館

- 学区によっては大沢野図書館まで自転車で行くことができないので、親が

送迎する必要がある。図書館まで行かなくても近隣の施設を通して書籍を借りられる仕組みができるとうい。

■ スポーツ施設

- 武道館は老朽化が進んでいるので廃止されるのだろうが、利用者がいるので代替となる施設は必要だ。多目的スペースや体育館に畳を持ち込んで使用できるのなら、武道専用施設でなくても構わないと思う。学校の武道場や体育館を平日夜に利用することも考えられる。
- 下夕の北部と南部体育館は耐震の問題で廃止の対象となっているようだが、体育館は避難所としても必要なもので区内から体育館がなくなることには反対だ。稼働率が低いのであれば学童の子ども達をもっと利用しやすいようにしてはどうか。
- 冬は雪が多く、夏は猛暑が続いているので、室内で子ども達が気軽に遊んだり、運動したりできる場が必要だと思う。そういう場として体育館やスポーツ施設を利用できないか。

■ 学校

- 小、中学校の駐車場が少なく、行事の際には学校近隣の公共施設や会社の駐車場を使わせてもらっている状況だ。
- 学校を統合すると歩く距離が長くなるので、通学時の安全性が確保できるかという心配がある。
- 少人数教育に魅力を感じて遠方の学校に通わせる親もいるので、学校の統廃合の議論をする前に、他の地域から通学ができるようにして児童、生徒数を増やすことを考えてはどうか。
- 学校が児童数に応じて縮小することは理解できるが、地域の避難所としての機能は残してほしい。
- 空き教室を活用して多世代交流の場や子ども達を見守る場を作れると、元気な高齢者が増えるし子どもにとってもよいと思う。地域の活性化にもつ

ながるだろう。

■ 幼児・児童施設

- 学童に入れない子どもや学童を終えた高学年の子どもが、長期休み期間中や放課後に過ごせる場がない。お弁当を持って行って1日中過ごすことができない、駐車場が狭くて迎えの際に待ち合わせができないなど、児童館は利用者のニーズに合っていない。
- 小学生は校区内で1日を過ごせるのが1番良いと思うので、放課後や休日に子どもが集う場、遊ぶ場は小学校区ごとに配置してほしい。リーディングプロジェクトのエリアに施設を複合しすぎない方がよいと思う。

■ その他

- 子育て世代へのサポートを手厚くしないとますます子どもの数が減ってしまうと思うので、子育て支援機能は必要だと思う。
- 高齢者は身近に交流拠点となる公共施設がないと気軽に集うことができないので、交通アクセスとセットで高齢者や多世代交流のための施設がほしい。

3

リーディングプロジェクトとなる複合施設

- 自治振興連絡協議会から行政サービスセンターと文化会館を複合した施設を建設してほしいという要望を出しているなので、それを踏まえた検討をしてほしい。
- 行政サービスセンターは立派な建物なので、壊さずに耐震改修して使い続ける方が新しいものを建てるよりコストがかからないのではないかと。行政サービスセンターを壊すことを前提にした理由を説明してほしい。
- リーディングプロジェクトを大沢野でやる理由が知りたい。以前は大久保の方が栄えていたと聞いたし、船嶽の住民などは富山中心部に向かう用事

が多く、通り道である大久保の方が便利なので、大沢野にばかり施設を作るといのはどうかと思う。

- 複合施設ができて下タなどの遠方の住民にとっては他人事という感じがするので、各地区から施設までのアクセスを確保してほしい。複合施設から富山駅まで行けるバス路線があれば、地域住民にとって更に意味があるものになると思う。
- これまで文化会館にあった機能はコンパクトになってもよいので全て入れてほしい。
- 廃止された大沢野文化会館のホールに代わるスペースが必要だ。地域住民が楽しめるイベントを開催するとともに、地域外の人にも来るような文化拠点になるとよい。普段は小さく区切って使えたり、平場でステージや椅子は可動式にしたりすると、いろいろな用途に使えるだろう。
- 施設への迎えの際に、周囲に気兼ねすることなく子どもとの待ち合わせができるスペースがあるとよい。防犯や子どもの見守りの観点から、防犯カメラは設置してほしい。
- 公共施設を複合するだけでなく、スーパーやコンビニなどの民間の施設を誘致してはどうか。複合施設と近隣の商業施設をアーケードなどで繋げることも考えられる。
- 予期せぬ大災害が起きて富山本庁舎に津波が来る可能性もあることを考えると、市内でも特に災害に強い大沢野地域に災害対策本部になりうる施設を整備できるとよい。行政サービスセンターを複合施設として整備する際に、その対応ができるようにしてはどうか。
- 幼児検診や育児相談ができる施設、病児保育施設、子育て中の親が子連れで集える交流の場など、親が必要とする幼児のための機能や子育て支援センター機能が複合施設に集約されているよい。下タなどの遠方から来る住民にとっては特に利便性が高まる。
- 飲食ができる30人規模の集会室、料理教室などができる調理室、体育施設などが複合されているとよい。

- 地域コミュニティにとって意味を持つ施設になるように、施設の一部を市民が運営するなどの工夫をし、稼働率を高めるソフトの検討もしてほしい。
- 今までのように駐車場は広く整備してほしい。除雪の心配があるので立体駐車場にしてはどうか。
- 機能を集約して複合施設にすることは単体で施設を構えるよりもよいと思うが、様々なものを複合しすぎて利用者が集中し、予約が取りにくくなるのではという不安もある。
- 多世代の人が気軽に集まれる施設になるように、機能を集約するだけでなく、建物のデザインやアクセス方法にも配慮してほしい。
- 複合施設は地域のシンボルになると思うので、名称に「大沢野」の名前を残してほしい。